日本脳炎ワクチンの説明
商品名：ジェービックV(Jebik V)

■日本脳炎について

日本脳炎ウイルスによる急性脳症です。初期症状は突然の発熱、頭痛、嘔吐などです。
死亡率は20～30%で、生存しても30～50%で神経症状が残ります。
ただし、大多数は無症状で、症状を呈するのは1%未満です。

■流行地域

中国、東南アジア、インドにかけて広く分布しています。
日本ではワクチン接種によって患者は著しく減少しました。

■感染経路

豚の体内で増加したウイルスを蚊（コガタアカイエカ）が吸血し、その蚊がヒトを刺すと
感染します。コガタアカイエカは夜行性です。ヒトからヒトへは感染しません。

■診断と治療

・髄液や血清での抗体価上昇から診断します。
・特異的な治療はなく、対症療法のみです。

■予防方法

・蚊に刺されないようにする。家畜には近づかないようにする。
・ワクチンを接種する。

■接種対象者

・定期接種を受けていない人。
・ワクチン接種から5年以上経過している人。日本も北海道以外は流行地域です！
・流行地域（中国・東南アジア・インド）に滞在する人。

■ワクチンについて

・日本脳炎ワクチンは国内承認ワクチンです。
・過去に副反応として急性散在性脳脊髄炎が危惧され、定期接種が中止されましたが、
2010年4月から新しいワクチンになり、定期接種も再開されています。

	ジェービックV（国内ワクチン）
【製造会社】	阪大微生物病研究会
【適応年齢】	6ヶ月以上3歳未満：0.25ml　3歳以上：0.5ml
【接種回数】	3回接種。
【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】	初回と1ヶ月後（1-4週間後）と1年後。
【接種方法】	皮下注射。
【持続期間】	5年間。

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、
筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、妊娠・授乳中、発熱している方は接種できません。

■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。
発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。